

2 0 2 4年度
事 業 計 画 書
収 支 予 算 書

2024 年 10 月 2 日付修正

自 2 0 2 4 年 4 月 1 日

至 2 0 2 5 年 3 月 3 1 日

一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

2024年度事業計画

1. 情報発信事業及び事務局基盤整備事業

1-1. 目標

〔情報発信事業〕

ウェブサイト、SNS、紙媒体を活用し、障害者の各種表現活動を紹介し、特に障害についての詳しい知識を持たない若年層（Z世代）が興味を持つことができる記事を企画し制作・公開する。その結果、2022年度比で訪問者数を2万人増加させる。

その他、当団体実施事業を紹介し、より多くの人々に周知する。

〔事務局基盤整備事業〕

情報発信事業及び巡回展事業、True Colors Festival 等各種事業が円滑に進むよう、事務局を2023年1月時の体制よりも1名増員し、強化する。また業務効率化、内部の情報共有の改善、組織マネジメントの強化の観点からシステム導入を行う。

1-2. 事業内容

〔情報発信事業〕

- (1) 情報発信戦略策定補助及び編集を行う業者選定（2024年4月）。選定後、日本語・英語による記事公開を実施。（通年）
- (2) 情報発信戦略に基づき、事業及びウェブでの発信と連動したSNS（Facebook、Instagram、X）の運用及びメールマガジンの配信（通年）

〔事務局基盤整備事業〕

- (1) 新規職員1名（チーフ・プログラム・ディレクター級）の雇用（2024年4月）
- (2) 業務システムの検討・トライアル（2024年4月～6月）・導入（2024年7月）

2. 多様性をテーマとした共創活動の推進と舞台芸術活動事業

2-1. 目標

①True Colors DANCE 2025(仮称) 事業

- ・ 障害のある子ども・若者に向けたダンスワークショップの開催：国内5都市
- ・ 全日本高等学校チームダンス選手権大会の地方5大会における障害のある、ない学生混合のダンス・エキシビション公演の実施
- ・ インクルーシブ運動会のダンスプログラムのモデル動画の完成

②True Colors SPECIAL LIVE 2025(仮称) 事業

- ・ 一般観客参加数：1,500人（今年度よりチケット有料化）
- ・ 開催のための協賛（物的協賛を含む）＋チケット料収入＝開催総予算の15%の達成

③海外連携可能性調査

- ・ 在東南アジアの財団・非営利団体等と共催でのTrue Colors イベントの開催

④効果検証に関する調査

- ・ True Colors DANCE 2025 及び SPECIAL LIVE 2025 事業についての効果検証の実施
- ・ 大学生が制作・運営に参加するTrue Colors の演劇公演及び効果検証の実施

2-2. 事業内容及びスケジュール

①True Colors DANCE 2025(仮称) 事業

(1) 障害があるダンス関心層のすそ野を広げるワークショップの開催

- 時期 2024年4月～2025年3月
- 場所 東京、宮城、愛知、大阪、福岡の計5か所
- 対象者 障害があり、ダンスに関心がある小学生～10代、各回30名程度
- 内容 障害のある・ないインストラクターがチームでダンス初心者向けに楽しさを伝えるためのワークショップを開催

(2) 全日本高等学校チームダンス選手権大会・地方大会でのエキシビション

- 時期 2024年7月
- 場所 東京、宮城、愛知、大阪、福岡の計5か所
- 参加者 (元)高校ダンス部 計20名、障害がある学生8名、指導者8名
- 内容 障害のある・ない学生チームが高校ダンス部のインターハイとされる同大会でエキシビションとしてダンスを披露。まぜこぜのダンスチームの表現の豊かさを大会関係者・高校生に体感してもらい、将来、同大会「パラ混合部門」の設置につなげるための意識啓発と位置付ける。

(3) パラサポ連携企画:インクルーシブ運動会におけるダンスプログラムの開発

- a. 時 期 2024 年 4 月～6 月
- b. 参加者 (元)高校ダンス部 計 20 名、障害がある学生 8 名、指導者 8 名、パラアスリート複数名他
- c. 内 容 障害のある・ない学生にパラアスリート等を加えてダンスチームを作り、障害の有無を超えて楽しむことができる「インクルーシブ運動会」の新たな演目となる、だれでも楽しく参加できるダンス動画（ソーラン節を想定）を開発。パラサポと連携し、同演目を全国に広げるための活動を行う。

②True Colors SPECIAL LIVE 2025(仮称)事業

- a. 時 期 2025 年 3 月
- b. 場 所 東京／横浜
- c. 参加者 一般 1,500 人
- d. 内 容 障害のあるアーティストとないアーティストの多様なコラボレーションのステージを届けると共に、アクセシビリティの工夫によって障害があっても観客として楽しむことができる中規模のコンサートを開催。制作会社との協議の上で、適切なチケット料金を設定し、本番に向けて協賛企業獲得のための活動も行うことで、今後より多くの人に支えられるコンサートを目指すための第一歩とする。また 1.True Colors DANCE 2025 の成果発表の場面もつくることで、同プロジェクトの周知や参加者のモチベーション向上にも寄与することを目指す。

③海外連携可能性調査

- a. 時 期 2024 年 4 月～連携先が確定するまでの期間
- b. 場 所 シンガポール
- c. 内 容 現地協力者主導で、在シンガポールの民間財団や公共施設から総予算の 50%に相当する資金・リソース提供を得る形で、現地で True Colors Festival の催しを開催するための調査・交渉を推進する。協力団体が見つかった際には、団体の意向も汲みながら、数百名規模のパフォーミングアートの催しをアクセシビリティに配慮する形で実施する。

④効果検証に関する調査

- (1) True Colors DANCE 2025 及び SPECIAL LIVE 2025 事業についての効果検証の実施

- a. 時 期 2024 年 4 月～2025 年 3 月
- b. 内 容 専門家の協力のもと、事業を進行しながらヒアリングやアンケート等で対象者の変化をリアルタイムでモニタリングする伴走型の効果検証を実施。成果を取りまとめて報告書を発表する。

(2) **大学生が制作・運営に参加する True Colors の演劇公演及び効果検証の実施**

- a. 時 期 2024 年 8 月
- b. 場 所 東京
- c. 参加者 東京大学大学生・大学院生 15 名
- d. 内 容 大学生・院生がプロの演劇制作チームと共に障害のない・ある演者が共演する演劇作品の制作・運営を行う。その中で学生たちが得た気づきや意識の変化を学術的な手法で検証する。

3. 歴史的価値の高い障害者アートの巡回展並びに共創の場づくり事業

3-1. 事業目標

①巡回展開催へ向けた準備事業

2025 年度に滋賀県立美術館の企画展「つくる冒険 日本のアール・ブリュット 45 人ーたとえば、「も」を何百回と書く。」(2024 年 4 月ー6 月開催)を北海道及び沖縄にて巡回展として開催するための準備の実施。

②巡回展開催予定美術館との協力ワークショップ事業

巡回展の開催の機会を捉えた地域連携による共創の場としてのインクルーシブワークショップを開催

3-2. 事業内容及びスケジュール

① 巡回展開催へ向けた企画準備事業

(1) 函館開催準備

- a. 時 期：2024 年 7 月～2025 年 3 月
- b. 場 所：北海道函館市・滋賀県大津市・東京都
- c. 関係者：北海道立函館美術館、滋賀県立美術館、他
- d. 内 容：巡回展開催に向けた企画会議、関係各所との調整、作品にちなんだ作家紹介用の動画撮影や図録の制作支援などを行う。

(2) 沖縄開催準備

- a. 時 期：2024 年 7 月～2025 年 3 月
- b. 場 所：沖縄県那覇市・滋賀県大津市・東京都
- c. 関係者：沖縄県立博物館・美術館、滋賀県立美術館、他
- d. 内 容：巡回展開催に向けた企画会議、関係各所との調整、作品にちなんだ作家紹介用の動画撮影や図録の制作支援などを行う。

② 巡回展開催予定美術館との協力ワークショップ事業

- (1) 時 期：2024 年 7 月～2025 年 3 月
- (2) 場 所：北海道函館市、沖縄県那覇市
- (3) 参加者：函館市、那覇市 各約 30 人
- (4) 内 容：学芸員・教育普及担当・アーティストなどが障害のある・ないに関係ない初心者参加者向けに鑑賞の楽しさやつくる楽しさを伝えるためのワークショップを開催する。特に、巡回展開催に向けた興味関心を地域の事情に応じて醸成し、地元開催の機運を盛り上げるために地元の関係団体等と連携して開催する。

4. 障害のあるアーティストをまじえた国際的なコンサートの開催

4-1. 事業目的

民間セクターが障害者のインクルージョンに一層取り組んでいくための世界的な気運醸成に、障害のあるアーティストをまじえたコンサートの実施を通じて貢献する。

4-2. 事業目標

The Valuable 500、日本経済新聞社、日本財団が開催する国際会議「SYNC25 アカウンタビリティ・サミット」の開催に合わせて、同会議が終了する 2025 年 12 月 4 日の夜に、同会議参加者を対象として世界の様々な障害のあるアーティストが出演し障害のないアーティストとのコラボレーションも行う True Colors Festival のコンサートを実施する。

4-3. 事業内容及びスケジュール

① True Colors Festival SPECIAL CONCERT 2025（仮称）の開催

- (1) 時期：2025 年 12 月 4 日
- (2) 場所：港区内施設を検討中
- (3) 参加者：The Valuable 500 参加企業の経営層及びその関係者約 250 名
- (4) 内容：世界各地から集った障害のあるアーティストたちが中心となり、障害のないアーティストとのコラボレーションをまじえながら歌、楽器演奏、ダンスなどをシームレスに展開し 120 分程度のステージを行う。英語・日本語で情報提供を行い、日本手話・国際手話のパフォーマーも全てのパフォーマンスに参加する。

5. 障害のあるアーティストによる学校での教育普及事業（仮称まぜこぜアートスクール）

5-1. 事業目的

ヴィジュアル・アーツ（絵画・彫刻他）、パフォーマンス・アーツ（音楽、ダンス他）を問わず、障害のあるアーティストや作品が少しずつ社会的認知を得ている今日においても、アーティストや作品と触れることができる機会は、展覧会やイベント等の特定の場に限られることが多い。普段から様々な美術展に訪れる習慣のある人や、多様性をテーマとするイベントに参加する層向けに接点が限定されているとも言える。

当財団のこれまでの活動から、障害のあるアーティストの存在や彼らの活動は、慈悲や支援、福祉の文脈で語られることが圧倒的に多かった「障害」の既成概念を揺さぶり、多様な身体や認知のあり方として相対化するだけでなく、創造性にもつながり得ることを多くの人に伝える力を持っていると考えられる。その力を、美術展の訪問者やイベント参加者だけでなく、将来の社会を担う若年層に学校教育の現場を通じて広く届けることで、将来の障害に対する社会の価値観の変化に寄与することを目指す。具体的には、多様な障害のあるアーティストを小学校、中学校、高校、特別支援学校へ出前授業の講師として派遣する仕組みを新たに構築することで、多くの子供たちが学校教育の中で障害のあるアーティストと出会い、障害や多様性についての新たな価値観と出会う機会を多く創出することを目的とする。

5-2. 事業目標

- ① 障害のあるアーティスト 3 名を 3 つの異なる学校に派遣する出前授業（パイロット版）を実施する。
- ② 2025 年度からの全国規模での実施にむけた計画策定を行うと共に、学校や教育関係機関への広報ツールの開発を行う。

5-2. 事業内容及びスケジュール

- ① （仮称）まぜこぜアートスクール実施
 - (1) 時期：2024 年 11 月～2025 年 3 月
 - (2) 場所：関東近郊 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
 - (3) 参加者：生徒・教員 300 人程度（1 校 1 学年対象 約 100 名×3 校）、障害があるアーティスト 3 名、アーティストサポート複数名 他
 - (4) 内容：障害のあるアーティストによる出前授業を行う。講師による多様な表現手段を講義、デモンストレーションにて示した後、生徒が参加するワークショップを行うことで、障害や多様性について新たな視点を提供し、共生社会について生徒が主体的に考え始めるきっかけを提供する。

② (仮称) まぜこぜアートスクール実施のための調査・計画・広報策定

- (1) 時期：2024 年 11 月～2025 年 3 月
- (2) 場所：事務局、関東近郊 他
- (3) 参加者：アーティスト、学校・教育委員会など関連機関、官公庁関連機関、子ども向けワークショップ事業者、広報関係事業実施者 他
- (4) 内容：2024 年度内の試験的实施と並行して、2025 年度以降に、全国的規模で展開することを目指し、学校をふくむ教育機関などへのプログラム案内のための広報ツール(紙媒体及びウェブサイト)、を制作する。様々なジャンルや障害種別のアーティストを講師として迎え、プログラムとして共通の深い気づきを提供しつつも、講師に合わせて柔軟に展開できる手法を開発するため、講師候補の調査、先行事例や類似事例についての調査を行う。公立、私立問わず学校から求められるプログラムとなること、協賛などの形で企業からも一部支えていただくプログラムとすることを視野にいれ、活動を広げ、持続させる仕組みを構築するための計画を策定する。

日本財団DIVERSITY IN THE ARTS 収支予算

2024年4月1日～2025年3月31日

収入の部		支出の部	
事業活動収入		事業活動支出	
1. 事業活動収入	341,790,025	1. 事業活動支出	260,955,000
基本財産運用収入			
基金取崩収入	341,790,000		
情報発信事業及び事務局基盤整備事業	109,400,000	情報発信事業	28,565,000
多様性をテーマとした共創活動の推進と舞台芸術活動事業	197,280,000	多様性をテーマとした共創活動の推進と舞台芸術活動事業	197,280,000
歴史的価値の高い障害者アートの巡回展並びに共創の場づくり事業	19,800,000	歴史的価値の高い障害者アートの巡回展並びに共創の場づくり事業	19,800,000
障害のあるアーティストをまじえた国際的なコンサートの開催	10,360,000	障害のあるアーティストをまじえた国際的なコンサートの開催	10,360,000
障害のあるアーティストによる学校での教育普及事業(仮称まぜこぜアーツクール)	4,950,000	障害のあるアーティストによる学校での教育普及事業(仮称まぜこぜアーツクール)	4,950,000
雑収入(受取利息)	25		
2. 投資活動収入	0	2. 管理費支出	80,835,000
		3. 予備費支出	0
当期収入合計	341,790,025	当期支出合計	341,790,000
前期繰越収支差額	1,982,413	当期収支差額	25
収入合計	343,772,438	次期繰越収支差額	1,982,438